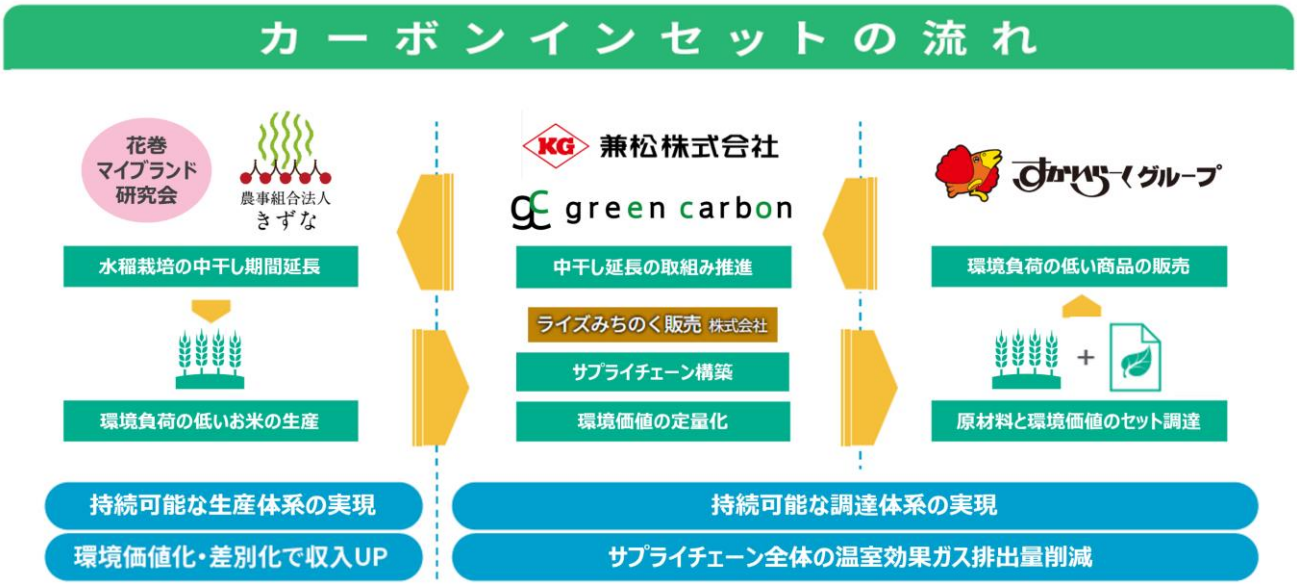
2025 年 12 月 10 日

# 米生産者らと共同で、国産米の生産・調達に係るサプライチェーン排出量の削減取組みを実施

株式会社すかいらーくホールディングス（以下、「当社」）は、兼松株式会社（以下、「兼松」）、ライズみちのく販売株式会社（以下、「ライズみちのく」）、Green Carbon 株式会社（以下、「Green Carbon」）と連携の上、サステナビリティ方針に則った取組みの一つとして、当社サプライヤーである花巻マイブランド研究会と農事組合法人きずな（以下、「生産者」）の圃場にて生産された国産米と環境価値をセットで調達しました。

本取組みは、サプライチェーン内で削減・除去された温室効果ガス排出量を同一サプライチェーン“内”で取り込む「カーボンインセット」の概念に基づくものです。今回は、生産者の圃場で J－クレジット方法論 AG-005「水稲栽培における中干し期間の延長」に基づいた中干し期間の延長を行いました。これにより削減された GHG 排出量を Green Carbon が J－クレジットとして創出し、当社向けに無効化しました。また、当社は、兼松およびライズみちのくは、生産者により生産された国産米を兼松およびライズみ

ちのくにてトレーサビリティを確保の上で調達しました。これは、当社をはじめとした本サプライチェーン全体に関連する事業者のスコープ３削減に資する取組みとなります。




本取組みは、農業・食品業界の中でも先進的な事例の一つです。これからも４社および生産者で信頼関係を一層強化しながら、持続可能な国産米の生産・調達体系の構築を推進・拡大していきます。また、当社と兼松は、本サプライチェーン以外においても、「カーボンインセット」の概念に基づいたパートナー連携を強化し、地球環境への配慮および気候変動対策を促進すると共に、生物多様性なども含めた持続可能な原材料の生産・調達体系の構築と持続的な社会の実現を目指していきます。

◆当社グループの取組み

当社では、取締役会による監督のもと、サステナビリティに関わる取組みの意思決定機関として、「サステナビリティ委員会」を設置し、全社方針や目標の策定、マテリアリティのモニタリングおよび体制の構築と整備などのサステナビリティ施策を継続的に実施してきました。2024 年 8 月には、農業および食品バリューチェーンのカーボンニュートラル、ネイチャーポジティブへの移行に向けて、「カーボンインセッティングコンソーシアム」に加入し、直接的な温室効果ガス排出（SCOPE１＋SCOPE２）のみならず、間接的な GHG 排出（SCOPE３）に該当する同一バリューチェーン上の GHG 削減に向けた取組み構築を目指しております。

2025 年 5 月には、農産物や畜産品などの原材料の生産過程や土地利用で発生する温室効果ガスを対象とした FLAG 排出量を含めた短期目標において、国内外食企業として初めて SBT FLAG の認定を取得しました。

**＊ 当社の活動事例はこちら**

（リンク先：
https://corp.skylark.co.jp/Portals/0/images/news/press_release/2025/250502_SBT_FLAG_.pdf）

本件に関するお問い合わせ先
株式会社すかいらーくホールディングス　広報室　0422-37-5310